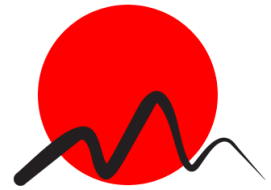


Slovenia Monthly February 2016 vol.2-no.2

スロベニア マンスリー

発行：在スロベニア日本国大使館 発行日：2016年3月11日



～2月の主なポイント～

難民問題：国民議会は、国境警備にあたる軍に制限付き警察権を付与する政府案を承認。

バルカンルート諸国は、1日あたりの通過難民数を約580人に制限することで合意。

政治：ツェラル政権の支持率が発足後最低を記録。

パホル大統領がミュンヘン安全保障会議で、西バルカン諸国へのEU拡大の必要性を強調。

経済：2015年の経済成長率が前年と同水準の2.9%となり、引き続き好調を維持。

2015年の輸出額及び貿易黒字がEU加盟後最大を記録。

社会：スロベニアの研究チーム、南米で流行しているジカ熱と小頭症の関連性を証明。

南西部の港街ピランが欧州の美しい街ベスト30に選出。

難民問題

●13日、スロベニア当局は難民の入国及び唄への移送に際し、出身国や目的地などについてより厳格な基準を導入した。

●16日、欧州委は、難民危機対処を担当する2つのポストを本年4月に新設予定であり、スロベニアEU常駐代表部の法務・内務顧問を務めているグロシェリ氏が就任すると発表した。

●17日、唄当局が19日より1日あたりの難民申請の受入れ数を80人、通過する難民数を3200人に制限する措置を発表した。

同日、政府は、昨年10月に成立した非常事態時に軍に対する制限付き警察権の付与を可能にする法改正(昨年10月号をご参照)に基づき、スロベニア軍に対し、国境管理に際する国境移動の監視や集団のコントロールに際する支援等の制限付き警察権を付与する提案を議会に提出した。

●18日、スロベニア軍報道官は、国境管理強化の一環として対クロアチア国境に過去最大となる約100人の部隊を派遣すると発表した。

同日、バルカンルートに位置するマケドニア、セルビア、クロアチア、セルビア及び唄の警察長官は、ギリシャ・マケドニア間国境において難民の登録を行う新たな登録手続きについて合意した。

●20日、クラン近郊の街シェンチュルで、約3000人が集まり、新たな難民センターの建設に反対する抗議集会が行われた。

●22日、国民議会は、軍に制限付き警察権を付与する政府案を承認した。これにより、最大3か月にわたり、対クロアチア国境でのパトロールに際して軍に制限的な警察権が付与される。カティッチ国防相は、警察権の使用は最終手段であり、すべての警察権の行使は警察への通知を必要とすると述べた。

●26日、スロベニア警察は、バルカンルート諸国は1日あたりに通過する難民数を約580人に制限することで合意したことを明らかにした。

●2月29日の時点で10月17日以降合計47万6184人の難民がスロベニアに入国(2月では3万4795人)した。(STA通信、スロベニア警察統計)

政治

【内政】

●ツェラル政権の支持率が発足後最低を記録【9日】

日刊デロ紙は、国内政治に関する月例世論調査結果を発表し、内閣支持率は、1から5の5段階評価で2.37となり、発足後最低を記録した。また、内閣

の職務について、55.8%が「評価しない」と回答し、「評価する」と回答した人は18%にとどまった。

2月の支持率下落は、1月のムラモル財相が大学学部長時代に法的根拠のない手当を受け取ったとされる問題や、同問題を受けてムラモル財相が提出した辞表をツェラル首相が不受理とした一連の出来事(1月号をご参照)の影響と見られている。

●2016年の政策プライオリティの発表【25日】

政府は、2016年の政策プライオリティを発表し、税負担の公平な分配と雇用促進のため、財政健全化と税制改革に取り組む考えを示した。また、治療までの待機時間短縮を目的として長期的な医療制度改革の準備に集中的に取り組むとし、経済面ではコペル〜ディヴァチャ間鉄道第2路線計画の推進を目指すとしている。昨年秋からの課題である難民問題については、難民への人道的な対応及び国民の安全確保に重点事項に挙げ、難民流入のコントロールに努めるという。

スロベニアに迫る！⑪

スロベニア人の平均月収

スロベニア統計局の発表によると、2015年のスロベニア人の平均月収は、総賃金が1556ユーロ、純賃金が1013ユーロでした。2014年と比べ、総賃金は名目で0.7%、デフレのため実質では1.2%増加しました。職種別に見ると、エネルギー部門での賃金が最も高く(純賃金で1438ユーロ)、事務職の賃金が最も低い(同705ユーロ)結果となりました。

地域別に見ると、首都のリュブリャナがあり、政治と経済の中心である中央スロベニア地域が最も高く、唯一国内平均を上回っています。その他、上位に位置する南スロベニア地域は製薬会社のクルカ(krka)社をはじめ大企業の工場を擁しており、また、沿岸カルスト地方はピラン市など観光業が盛んな地域です。

地域	総賃金(EUR)	純賃金
スロベニア平均	1556	1013
1. ゴリシュカ	1487	985
2. ゴレンスカ	1545	1011
3. コロシュカ	1454	957
4. ドラヴァ	1420	939
5. ポムリエ	1384	923
6. 中央スロベニア (リュブリャナ等)	1720	1099
7. 中央サヴァ	1379	914
8. サビニヤ	1430	945

9. 沿岸カルスト	1533	998
10. ノトリスコ・カルスト	1374	1011
11. 南スロベニア	1560	1022
12. 南サヴァ	1446	955



【外政】

●イラクへの軍教官派遣【3日】

スロベニア政府は、ISISに対する国際的な対抗策の一環として、15名の軍教官をイラク内クルディスタンの合同調整センターに派遣することを決定した。

●スロベニアによる20万ユーロのシリア支援【4日】

ツェラル首相は、ロンドンで開催されたシリア及び地域支援会合に出席し、スロベニア政府による20万ユーロに上る対シリア支援を発表した。20万ユーロのうち、8万ユーロは国際赤十字が行うシリアにおける緊急人道支援活動に、残りの12万ユーロは、1998年にスロベニアが設立した「人間の安全保障強化のための国際信託基金(ITF)」を通じた難民支援に活用されることとなる。

●パホル大統領のミュンヘン安全保障会議出席【13日】

パホル大統領は、ミュンヘン安全保障会議に出席し、欧州大西洋体制の強化に関するディベートの中で、西バルカン諸国を含むEU拡大継続及びEU強化の必要性を強調した。

また、同大統領は、モゲリーニEU外務・安全保障政策上級代表、メドベージェフ露首相及びザリーフ・イラン外相とそれぞれ会談を行い、シリア情勢をはじめとする国際情勢について議論を行った。

●パホル大統領のチェコ訪問【18日】

パホル大統領はチェコを訪問し、ゼマン大統領と会談を行った。両大統領は、主に難民問題について

協議したが、難民の再移転や受入れ人数割当て制度などについて、V4諸国とスロベニアの立場は大きく異なっており、パホル大統領は、これはV4諸国が難民流入の直接の影響を受けていないからであると述べた。一方で、両大統領は、シリア内戦等の問題発生国での原因への対処及びEU域外国境の管理強化の必要性につき一致した。

●ツェラル首相の欧州理事会出席【18・19日】

18日及び19日、欧州理事会が開催され、各国首脳は難民問題やイギリスのEU離脱問題について協議した。

同理事会において、各国首脳は、難民流入の抑制、EU域外国境の強化、不法移民の削減、シェンゲン領域の保護等について合意した。ツェラル首相は、同理事会後にツイッター上で、同理事会でギリシャ・マケドニア間国境の管理強化におけるイニシアチブが出席者から広く評価された旨発言した。

また、同首相は、EU改革に関する合意成立を受け、イギリスは欧州の共通政策に多大な貢献をしており、EUとしてイギリスがEU圏内に留まって欲しいと考えているのは明白であると述べた。

スロベニアに迫る！⑫

スロベニアの国民的飲料「コクタ(Cockta)」

スロベニアには、「コクタ(Cockta)」というスロベニア人なら知らぬ者はいない国民的飲料があります。

1950年代初め、コカ・コーラが西欧を席卷していた時代に、政治的背景でアメリカの飲料が手に入らなかったユーゴスラビアにおいて、シロップとリキュールを製造していたスロベニアヴィノ(Slovenijavino)社に国内向け代替品の開発依頼が入ります。

オーナーのゼリンカ氏は、スロベニアで広く手に入る、様々なハーブ、砂糖、オレンジ、レモン、そしてローズヒップエキスといった、すべて天然の材料を使って代替品を開発し、英語のカクテル(cocktail)から「コクタ(Cockta)」と名付けました。調合の割合は今でも門外不出です。

販売されたコクタは当時としてはとても新鮮で、国中がスタイリッシュなポスターで埋め尽くされ、瞬間に成功を収めました。

60年代にコカ・コーラがユーゴスラビア市場に巡回すると、コクタの売り上げは一時低下しますが、ノスタルジックな広告手法に加え、すべて天然の材料を使用するというコカ・コーラとの違いを強調することで、スロベニア国内ではコカ・コーラと渡り合うほどの地位を確立しました。

ユーゴスラビア崩壊後も人気は衰えることなく、発売から60年以上経った現在でもスロベニアの国民的飲料となっています。



(写真: Cockta 公式サイト)

経済

【マクロ経済・統計】

●経済の自由度ランキング【1日】

1日、ヘリテージ財団及びウォールストリートジャーナル紙が2016年経済の自由度ランキングを発表し、スロベニアは178カ国中90位、欧州では37位であった。スロベニアは100点中60.6点を獲得し、昨年より0.3点上回ったが、昨年に引き続き平均の60.7点を下回った。

発表機関は、スロベニア経済について、非効率な国営企業の民営化の遅れが見られるが、ビジネスの規制がより分かりやすくなり、法人税の減税が競争力を高めたと評価した。他方で、高齢化に伴う社会保障関係予算の増加への対応や、雇用と生産性の向上を妨げている労働市場の改革が今後の課題であると指摘している。

●2015年の輸出額がEU加盟後最大に【9日】

スロベニア統計局は、2015年の貿易統計を発表し、輸出額が対前年比4.4%増の239億ユーロ、貿易黒字が7億5千万ユーロとなり、いずれも2004年のEU加盟後最大となった。

主要な輸出品は機械類及び自動車で、輸出全体の77%がEU加盟国への輸出であり、引き続き大部分を占める結果となった。

一方、輸入額は対前年比で2.7%増となる232億ユーロであった。主に石油製品を輸入しており、輸

入におけるEU加盟国の占める割合は80%にのぼった。

●2015年の経済成長は好調を維持【26日】

スロベニア統計局は、2015年のGDP成長率が2.9%を記録し、前年の3%とほぼ同水準であったと発表した。前年に比べ、経済成長の主要因である輸出の成長率が5.2%と鈍化したが、国内消費が2.1%増となり成長率を押し上げた。

また、2015年のGDPは385億4千万ユーロとなり、経済危機前の水準である379億5千万ユーロを上回った。

【金融・企業関係】

●ポチヴァルシェク経済開発・技術大臣のセルビア訪問【19日】

ポチヴァルシェク経済開発・技術大臣は、ベオグラードで開催された国際観光展に出席し、スロベニアのブースに立ち寄ったブチッチ・セルビア首相と意見交換を行った。ブチッチ首相は、良好な二国間関係を評価し、スロベニアの投資先の中で、セルビアがクロアチアについて第2位になっていることに触れ、スロベニアがセルビアへの投資において重要な役割を果たしていると述べた。これに対し、ポチヴァルシェク大臣は、貿易の面でもセルビアはスロベニアにとって重要なパートナーである旨述べた。

●タバコ規制法改正案に関する発表【23日】

保健省は、タバコ規制法改正案に関する発表を行い、パッケージへの健康被害に関する大きな文字での警告の記載やパッケージデザインの均一化を検討していると明らかにした。その他改正案には、タバコ販売店のライセンスの取得義務化や、公共の場での電気タバコの使用禁止が含まれている。

また、保健省は、喫煙の被害防止及び軽減を目的とする施策のため、「タバコ・セント」と呼ばれる少額の費用の徴収も検討している。

スロベニアに迫る！⑬

スロベニアのタバコ事情

スロベニアでは、2007年に公共の場での喫煙を禁止するタバコ規制法が制定され、成人の喫煙者数が20%減少しましたが、2015年の統計では再び喫煙者数が増加傾向にあります。

日刊ゼロ紙の行った世論調査によると、80%が2007年のタバコ規制を評価すると回答しました。これに対し、より厳しい規制については、支持が過半数と

なりましたが、40%が現行法制で十分と答えています。

タバコ規制法改正案において保健省が提案するパッケージの均一化については、支持が43%にとどまり、電気タバコの公共の場での使用禁止については、40%が賛成と回答しました。

社会・文化・スポーツ

●ピランが欧州の美しい街ベスト30に選出【11日】

日本旅行業協会(JATA)は、欧州の美しい街ベスト30を発表し、スロベニアからアドリア海に位置する南西部の街ピランが選ばれた。

このリストは知られざる街にも精通している旅行会社300社により選出され、JATAはピランについて、「アドリア海岸にヴェネチア様式で建設された、美しい広場や教会、迷路のような細道や優雅なシーフードレストランのある港街」と紹介している。



(写真:スロベニア観光局)

●ジカ熱に関するスロベニア研究チームの発表【11日】

リュブリャナ大学医学部とリュブリャナ病院からなる研究チームは、中絶された頭部の小さい胎児の脳からジカウィルスを発見し、ジカウィルスと小頭症の強い関係性を証明する発表を行った。

研究チームによると、母親のスロベニア人女性は、ブラジルでボランティア活動を行った際、妊娠初期にジカ熱に感染したとされ、その後同研究チームが、29週目に中絶された脳の形状に異常のある胎児の解剖を行った。今回の発見により、ジカウィルスは感染した母親から胎児の脳へと感染し、深刻な損害を与えることが証明された。

世界保健機関(WHO)は、今回の発見は治療法やワクチンの開発につながる極めて重要な発見であると評価した。

●生活の質(Quality of living)ランキング【23日】

イギリス所在のコンサルティング会社マーサー社が「生活の質 (Quality of living) ランキング」を発表し、リュブリャナは230都市中76位で、昨年より順位を1つ落としたものの、中東欧地域ではプラハの69位に次ぐ、2番目に高い順位を獲得した。また、旧ユーゴ地域では98位のザグレブ、114位のベオグラードを上回り、最も高い順位となった。ランキングは、教育、文化、環境保護等39の基準より生活の質を算出しており、上位国は、1位が7年連続でウィーン、2位がチューリヒ、3位がオーストラランドとなった。

発見！スロベニア

トロヤーネ・ドーナツ (Trojanski krofi)

カーニバルシーズンとなる2月、スロベニア人はいつにも増してドーナツを食べる習慣があります。

中でも、リュブリャナから北東25kmに位置する街、トロヤーネで売られているトロヤーネ・ドーナツ (Trojanski krofi) が有名で、普通のドーナツよりひとまわり大きく、中にブルーベリーやアプリコットなどのジャムが入っているのが特徴です。

このドーナツはリュブリャナから北東部のシュタイエルスカ地方へと伸びる高速道路沿いの小さな宿屋で販売されています。1961年、ライカ・コニシエク (Rajka Konjsek) 氏のもとで再建を目指していた宿屋は、よく立ち寄るトラック運転手のためにドーナツの提供を始めました。当初は1日10個販売していましたが、たった数年のうちに年間15万個を売り上げるほどになりました。

現在では1日5000個販売しており、チョコレートなど新たな味も販売していますが、今でも伝統的なドーナツが一番人気となっています。



(写真: スロベニア観光局)

在スロベニア日本国大使館

電話: +386-1-200-8281 又は 8282、Fax: +386-1-251-1822、Email: info@s2.mofa.go.jp

Web: http://www.si.emb-japan.go.jp/website_jp/index_j.html

●スロベニアに90日以上滞在される方は、大使館に在留届を提出願います。

●本資料は、スロベニアに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。新たに配信を希望される方、あるいは今後配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

info@s2.mofa.go.jp

★在スロベニア日本国大使館のフェイスブックが出来ました！

当館のフェイスブックでは、スロベニアにおける日本の外交活動、文化行事のお知らせやレポート、スロベニア事情等の情報を随時発信しております。「いいね！」ボタンで当ページのフォローをよろしくお願いします。

<https://www.facebook.com/Embassy.of.Japan.in.Slovenia>

【文化行事のお知らせ】

●日本映画上映のお知らせ

リュブリャナ市内のキノ・ドウヴォルでは、是枝裕和監督の「海街 diary」及びスタジオ・ジブリのアニメ映画「思い出のマーニー」の2本を上映します。

「海街 diary」は、第68回カンヌ国際映画祭コンペティション部門に出品され、2016年3月に開催された第39回日本アカデミー賞セレモニーにて最優秀作品賞を受賞。湘南を舞台に、異母妹を迎えて4人となった姉妹の共同生活を通し、家族の絆を描いています。「思い出のマーニー」は、原作であるイギリスの児童文学作品の舞台を日本に置き換え、スタジオ・ジブリが長編アニメーション映画化した作品。第88回米国アカデミー賞長編アニメ映画賞にノミネートされました。

◇上映スケジュール

3月13日 19:00 海街 diary(是枝裕和監督、126分、綾瀬はるか他出演)

3月26日 11:00 思い出のマーニー(米林宏昌監督、103分)

◇場所: キノ・ドウヴォル(KINODVOR) (住所: Kolodvorska ulica 13, 1000 Ljubljana)

●日本人形展

古来の風習に育まれた「雛人形」「五月人形」、古典芸能に材をとった「能人形」「文楽歌舞伎人形」、日本各地の人形、現代工芸作家による創作人形など日本の代表的な人形を紹介。

期間: 4月5日～6月5日(予定)

場所: マリボル地域博物館(Maribor Regional Museum) (住所: Grajska ulica 2, 2000 Maribor)

【領事からのお知らせ】

●「たびレジ」に簡易登録機能がつけました！

たびレジとは、いざという時、在外公館などから緊急時情報提供を受けられる外務省の海外旅行登録システムです。

この度このたびレジに簡易登録機能がつけました。メールアドレスと対象国・地域だけを登録することで、実際の渡航の有無やその旅行期間に縛られることなく、継続的に領事メール及び最新海外安全情報メールを受け取ることが可能となります。(ただし、緊急時の安否確認の対象とはなりません。)

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>